議会だより

いずみざき No.70

令和8年11月1日発行



運動会　年中組　かけっこ



運動会　年長組　親子競技



運動会
年長組　つなひき

輝く未来をこどもたちへ



年少組
観劇「いなかのねずみととかいのねずみ」



ランドセル展示会



いずみちゃん

目次

表　紙　泉崎幼稚園のこどもたち
2～4　９月定例会 ～令和７年度決算認定～ / ７月臨時会
5～9　一般質問　４名が村政を問う！
10～14　議会インフォメーション・編集後記

泉崎村HPアドレス：https://www.vill.izumizaki.fukushima.jp/

9月定例会

全ての議案件名等は
こちらから

令和7年度決算 可決！

一般会計

歳入合計　48億6,527万円

村税など村で得たお金

- **村税 13億3,398万円（27.4%）**
  村民税や固定資産税、軽自動車税、たばこ税などの税金
- **使用料等 3,904万円（0.8%）**
  施設の使用料など
- **繰入金 2億5,049万円（5.2%）**
  基金などから繰り入れるお金
- **繰越金 7億4,009万円（9.0%）**
  前年度からの繰越金
- **その他 1億7,127万円（3.5%）**
  寄付金など

国や県から得たお金

- **地方交付税 13億6,131万円（28.0%）**
  国から交付されるお金
- **国県支出金 7億911万円（14.6%）**
  特定の事業に対し、国や県から交付されるお金
- **村債 2億7,680万円（5.7%）**
  事業のために借り入れたお金
- **その他 2億8,318万円（5.8%）**
  地方贈与税など

歳出合計　43億1,916万円

- **議会費 6,676万円（1.5%）**
  議会活動のためのお金
- **総務費 6億4,847万円（15.0%）**
  全般的な管理事務のためのお金
- **民生費 10億989万円（23.4%）**
  障碍者や高齢者に対する福祉の充実、子育て支援などにかかるお金
- **衛生費 3億2,249万円（7.5%）**
  環境保全、疾病予防、健康増進などにかかるお金
- **農林水産業費 3億219万円（7.0%）**
  農林業振興のためのお金
- **商工費 1億463万円（2.4%）**
  商工業や観光の振興のためのお金
- **土木費 4億3,577万円（10.1%）**
  道路、公園や区画整理などの事業に要するお金
- **消防費 2億8,127万円（6.5%）**
  消防、防災事業などに要するお金
- **教育費 7億6,697万円（17.8%）**
  学校教育、生涯教育、スポーツ振興などの事業に要するお金
- **災害復旧費 415万円（0.1%）**
  災害復旧にあたるお金
- **公債費 3億7,657万円（8.7%）**
  村の借金を返済する元金と利子などのお金
- 令和8年度への繰越金　3,632万円
- 差引額（黒字額）　5億979万円

※歳入・歳出の合計額は、千円以下を切り捨て掲載しています。

企業会計

（千円）

区分		収入	支出
水道事業	収益的収支	207,376	198,510
	資本的収支	0	40,237
農業集落排水・汚水処理事業	収益的収支	236,817	222,238
	資本的収支	0	57,858
住宅用地造成事業	収益的収支	17,764	14,032
	資本的収支	0	0

特別会計

（千円）

区分	歳入	歳出
国民健康保険	655,350	601,554
後期高齢者医療	91,833	78,607
介護保険	826,396	739,452

※収益的収支 ： 1年間の事業運営に必要な収入と支出
　資本的収支 ： 将来にわたって使用する施設の建設・整備や、借入金の元金返済に関する収入と支出

令和８年９月定例会は９月３日から９月１１日までの９日間で開催されました。
提出された認定４件、報告３件、議案７件、合わせて１４件を可決しました。
９月８日に行われた一般質問では、４名の議員が村政に対する熱い思いを投げかけました。

「長期的な視点に立って健全な財政運営を望む」

代表監査委員が決算審査結果を報告

令和８年８月３日・４日に決算審査を行いました。村長から提出された歳入歳出決算書（1年間の収入と支出をまとめた書類）などについて、計算の誤りがないか、予算が法令に従って効率よく使われているかを帳簿・領収書と照合し、誤りのないものと認めました。歳入に関しては収入未済額の縮減に一層の努力を望み、歳出に関してはいずれも適切に支出され、予算執行は適切でありました。

令和７年度の予算については、賃上げを背景に国内の消費が景気を支え、緩やかな回復が続いています。しかし一方で、物価の高騰、少子化対策、高齢化に伴う社会保障費、公共施設の維持管理費など、村の負担は増え続けています。さらに国際情勢の不安定さによる原油・穀物の値上がりや、大雨被害・大規模地震への災害復旧も見込まれ、先行きはますます不透明です。こうしたことから、村が自由に使えるお金（一般財源）の確保は厳しい状況にあります。今後も引き続き、経費の節減と行財政の効率化に、より一層取り組んでいただきたい。



代表監査委員
箭内（やんない） 達秀（たつひで）氏

令和７年度 重点事業内容

出産祝金贈呈事業　５７０万円



第１子10万円/第２子20万円/第３子30万円/第４子40万円/第５子以降50万円を贈呈

敬老祝金支給事業　５６７万円



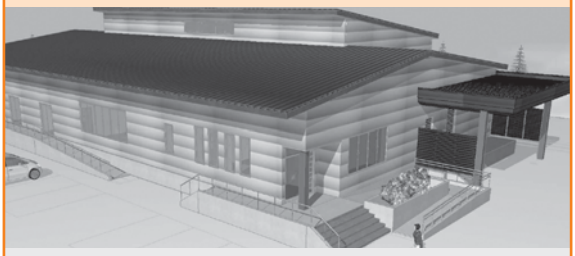
75歳以上の方へ5,000円支給

新入学小学生祝品贈呈



新一年生にランドセルを贈呈　２０３万円

学校給食センター建設事業　9,256万円



造成・排水路整備工事　5,169万円
建設設計業務委託料　1,617万円　等

※千円単位を四捨五入して掲載しています。

議案ピックアップ

可決！

議案第43号

令和８年度泉崎村一般会計補正予算（第３号）

歳入歳出それぞれ 9,636 万８千円を増額し、予算総額を 50 億 6,277 万３千円とするもの。

主な事業内容

◆国民健康保険診療所建替事業基金積立金・・・・・・・・・・・・・・3,000万円
◆補修保全工事（太田川地区、中野川の擁壁修繕工事費）・・・・７９６万2千円
◆除雪委託料（除雪準備のための予算）・・・・・・・・・・・・・４９９万9千円
◆修繕費（第一小学校プールサイド床の修繕費）・・・・・・・・・・２７５万円

人事案件

同意！

議案第４８号

教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

◎詳しくは、広報いずみざき１１月号をご覧ください。

7月臨時会

令和８年７月３１日(金)に第４回臨時会が開催されました。
会議では、提出された議案１件を原案のとおり可決しました。

詳しい議案件名等はこちらから

可決！

議案第41号

令和８年度泉崎村一般会計補正予算（第２号）

歳入歳出それぞれ 600 万円を増額し、予算総額を 49 億 6,640 万５千円とするもの。

事業内容

◆都市再生整備計画策定業務委託料・・・・・・・・・・・・・600 万円

※東口駐車場や駅舎、トイレ改修などの整備を行うため、業務委託により計画を策定するための費用。

会議録 と 議会映像 は 村のホームページ からご覧いただけます！



7月～9月　アクセス件数	
会議録 283件（延べ 10,102件）	議会映像 175件（延べ 9,629件）

スマートフォンの方はこちらから！



一般質問

4人の議員が村政を問う

▼一般質問とは

行政のさまざまな課題等について、議員が自らの提言も含めて村に考えを聞くこと。

1 白石　正雄・・・・・・・・6ページ

◆地震の教訓
◆ガス購入価格は
◆生理用ナプキン配置を
◆農業を守る政策を
◆オーガニック給食の推進を
◆食の安全

2 鈴木　義男・・・・・・・・7ページ

◆ふるさと納税の今後は
◆空き工場・民間遊休地の活用は

3 加藤　恵子・・・・・・・・8ページ

◆八雲ニュータウンの整備の進捗は？

4 鈴木　保仁・・・・・・・・9ページ

◆パークゴルフ場
◆県道母畑白河線バイパス



しらいし　まさお
白石　正雄 議員

地震の教訓

問 日本は地震国であり地震が常態化している国である。熊本地震や豪雨災害が多発する中で、村の緊急体制や災害時に必要な備品の装備。キッチンカー・シャワー・トイレカーや居住コンテナの準備。移動式空調機・蓄電池・発電機などの準備が必要ではないか。

答 **住民生活課長**
防災計画において動員配置を定めている。各種装備については慎重に検討が必要。国の災害対応車両登録制度を活用していきたい。移動式空調機と蓄電池は、ない。発電機は合計5台管理している。

ガス購入価格は

問 村営住宅居住者から、使用ガス料金が高すぎるという意見が寄せられている。単価設定の仕組み、料金決定のプロセスとガス料金の引き下げについて見解を伺う。

答 **建設水道課長**
事業者の選定は役場が行い、ガス使用の手続は居住者が入居時に自らプロパンガス事業者と契約している。村営住宅は同じ事業者に業務を依頼している。税別基本料金は2,000円と使用料1立方当たり900円で、村営住宅統一の単価設定となっている。村営住宅ガス利用戸数は59戸。

白石
伊藤忠のガス料金と比較すると24％高い。競争入札の導入で納得できる料金にするべきである。

生理用ナプキン配置を

問 村内小中学校女子トイレに生理用ナプキンを無料配置するよう提言してきたが、泉崎村においてはなぜ進まないのか。

答 **教育長**
現状女子トイレへの生理用品の配置はしていない。学校では養護教諭を中心として子供たちの悩み、不安を気軽に相談できる関係性と環境づくりに努めており、そのほかにも抱えている様々な悩みなどに寄り添い、丁寧な支援とアドバイスができる環境が大切であると考えており、現在の学校における対応と環境づくりを継続していきたい。

白石
全国でトイレに配置が進んでいる。新潟市や大阪市、札幌市、いわき市で全校に配置した。泉崎でも配置するべきである。

農業を守る政策を

問 昨年の生産者米価高騰から一転、今秋は大暴落が伝えられている。このままでは農家の決定的な諦めが蔓延する可能性がある。振興公社を設立し産直直販体制をつくり、安定した販売ができるようにするべきである。農家の生産意欲をつなぎ止めるため、生産支援として農機具購入補助の実施を求める。

答 **産業経済課長**
村単独で緊急支援事業を実施することは困難。国の動向を注視したい。現在小規模農家や個人農業者を対象とした村独自の補助制度の創設について近隣市町村や先進事例を参考にしながら前向きに検討を進めている。中小規模農家、兼業農家に届く支援を実現したい。

オーガニック給食の推進を

問 全国でオーガニック給食推進の動きが広まっている。学校給食センターが新しくなるところから、オーガニック給食について注目をし、子供たちの健康についても関心を寄せる必要がある。情報を収集し、具体化する計画が必要。

答 **教育課長**
国、県の動向などについて把握に努めていきたい。

食の安全

問 文科省により子どもの発達障害増加統計が公表されている。人間の神経系統に影響を及ぼしていると考えられる、食の安全について指導啓蒙すべきでないか。

答 **産業経済課長**
食の安全は家庭における食生活が極めて重要であり、指導、啓蒙は今後、村民全体で取り組むべき課題である。村としては、地域全体で啓蒙活動として広報紙やホームページを通じて、食の安全に関する情報を継続的に発信したい。



すずき　よしお
鈴木　義男　議員

ふるさと納税の今後は

問　ふるさと納税は、財源確保に加え村の知名度向上と関係人口の拡大につなげる重要な施策です。最近の寄附額の実績、主力返礼品、寄附者の地域傾向を伺います。なお、企業版ふるさと納税の案件も併せて伺います。

答　**総務課長**

令和5年度をピークに年々寄附金が減少している状況です。主力返礼品では精肉や食肉加工品が選ばれており、寄附者の地域傾向は、東京、神奈川、埼玉などの首都圏の利用率が高いです。また、企業版ふるさと納税は、現在3件の企業からの寄附の申出があります。

問　今年度から始めた企業版ふるさと納税で、早くも3件の実績があったというのは、大変うれしい話です。現在、返礼品としてカントリーヴィレッジ宿泊券がありますが、そこに本村のおいしいそばと豊富な遺跡・史跡、国指定泉崎横穴を掛け合わせ、宿泊だけで終わらない「体験型パッケージ」を盛り込んではいかがか。また今年度、国の地方創生伴走支援制度のチーム派遣自治体に選ばれ、内閣府、厚生労働省、経済産業省の職員に支援いただけるということで、企業版ふるさと納税を伸ばすためのアプローチ手法などアドバイスはいただけないのか。今後の具体的な施策を伺います。

答　**村長**

ご提案いただきました「体験型パッケージ」大変有意義なご提案と考えます。商業、観光名所及び文化財等を組み合わせた事業として協議、検討してまいります。

地方創生伴走支援ですが、国から3名の方が泉崎担当として支援いただいております。国の立場としての知識をお持ちの方々でございますので、機会を通してご指導いただきたいと考えております。

空き工場・民間遊休地※活用は

問　村内での空き工場や事業所跡地、民間遊休地の把握状況について伺います。

答　**産業経済課長**

空き工場や事業所跡地につきましては、その存在を十分に把握していません。遊休資産の有効活用は、地域活性化や産業振興の観点からも重要な課題です。今後、段階的な実態把握に努めてまいります。

問　近隣の自治体では空き工場や民間の企業用地の情報収集をし、一元管理、一般公開し県にも情報を提供しています。本村は優れた交通アクセスと立地環境、低災害の観点からも高く評価されていることから産業振興と地域活性化に向けた企業誘致や空き工場、民間遊休地などを網羅したデータベースを作成し、バンク制度を構築すべきではないかと考えますが、見解を伺います。

答　**産業経済課長**

ご指摘のとおり、近隣自治体では企業誘致施策の効果を高めている事例が見られます。先進事例を参考にしながら段階的に制度構築に向けた検討を進めてまいります。

※**民間遊休地**…個人や企業が所有しながら、住宅、農地、駐車場などの具体的な用途に活用せず、長期間放置している土地。

八雲ニュータウン整備の進捗は？



加藤（かとう） 恵子（けいこ） 議員

問　昨年12月の議会定例会一般質問にて質問した八雲ニュータウン整備について伺います。

①シーピー化成株式会社側の歩道上の法面（写真1）、シーピー化成株式会社側の道路より上ってくるさくら通り右側の法面（写真2）、3班-3の法面（写真3）の雑木や草の刈取りについて。

②各班にある公園、八雲中央にある公園の遊具、（写真4）の点検はされているのか。また、公園の整備について。

③1班-2にある階段（写真5）の足元の木材劣化のための修繕について。

それぞれの進捗状況を伺う。


写真2


写真1


写真5


写真4


写真3

答　**産業経済課長**

①ご指摘いただいた整備につきましては、優先度を高めて、予算が確保できているものは早急に実施する。予算が確保できていないものは、予算が確保でき次第、対応する。

②公園の遊具点検に関しては、これまで点検を実施していなかったが、早急に自治組合長さんの立会いの下、安全性等の確認を実施する。点検結果に基づき、使用できない遊具については撤去、使用可能な遊具については修繕をする方向で、予算が確保できた段階で対応する。

　公園の植え込みの剪定と草刈りについては、年1回ですが、予算が確保できているので、早急に対応する。

③1班-2にある階段は、予算が確保できていますので、早急に修繕工事を実施する。

加藤

　優先度に応じて、予算を取ってあるものはやっていただける、まだのものは予算が出来次第ということなので、安心しました。八雲の皆さんも安心してくれると思います。

　また、公園も点検を行って、修繕するものは修繕する、必要のないものは撤去するなど考えていただけるとのこと、よろしくお願いいたします。



すずき　やすひと
鈴木　保仁　議員

パークゴルフ場

問　パークゴルフ場の運営状況について村としての評価を伺う。

答　**村長**
本年6月17日に公認コースの資格更新に向け、実地検査を受検。結果、日本パークゴルフ協会より良好な運営状況であると評価。更新に係る指摘事項もなく無事に更新見込み。村として適正かつ良好な運営がなされていると評価。さらなる適正な管理に取り組んでまいりたい。

問　年間の利用者数及び近年の利用状況の推移を伺う。

答　**産業経済課長**
年間利用者数推移は次の通り。

年間利用者数推移

年度	年間利用者数		
		80歳以上	中学生以下
R３年度	7,691人	1,420人	17人
R４年度	14,057人	2,615人	71人
R５年度	12,429人	2,336人	81人
R６年度	13,227人	3,115人	70人
R７年度	12,131人	3,796人	101人

問　利用者からどの様な意見、要望が寄せられているか。

答　**産業経済課長**
木陰をはじめとする林間の静寂に包まれた環境について、他パークゴルフ場にはない素晴らしいロケーションであると高い評価。一方で芝の育成が弱い所や、部分的に芝が剥げてしまっている箇所があるといった改善をもとめる指摘もいただいた。抜本的な改善方策について検討を進め、利用者の皆様がより快適に利用いただけるコース環境の整備に向け取り組む。

問　村として今後どのようにコース管理運営をしていくのか。

答　**産業経済課長**
日本パークゴルフ協会の指導員や利用者からのご意見を踏まえ、今後は、芝生の保護、維持に向けた代替カップ、ゴールカップの増設や利用者の安全確保のための安全対策表示の追加などに取り組み、コースの充実を図る。

県道母畑白河線バイパス

問　県との協議、要望活動状況を伺う。

答　**建設水道課長**
県南建設事務所との連絡調整会議は、年2回7月、2月に行われ、県道母畑白河線バイパス工事について要望を行っている。直近では8月に県南建設事務所において担当職員と打合せを行っている。

問　関係地権者との協議は進んでいるのか。

答　**建設水道課長**
令和2年8月から村で地権者の意向確認を行い、必要に応じて県も同席し説明を行っており、村では、地権者全員にご理解いただいていると認識しております。

問　県道を利用している通行車両にどのような問題、危険性が生じると認識しているのか。

答　**建設水道課長**
白河市から泉崎村、中島村及び石川町を通る主要道路。大型車も含め交通量の多い県道と認識。関和久集落を通る区間は、道幅も狭く歩道が確保されていない。自動車制限速度は40キロであるがこれを超えるスピードで走行されると、歩行者や自転車は恐怖を感じ、運転者も危険を感じると思われる。

問　地元に推進協議会の設置の考えは？

答　**建設水道課長**
県の事業であり、村としては考えていない。県南建設事務所からは、事業の見通しがついた段階で地権者への説明会を開催する必要があると伺っている。

問　村としてどの段階まで進めたいと考えているのか、具体的な目標があるのか。

答　**村長**
危険な状態は十分に承知している。県南建設事務所との連絡調整会議に要望している。ほか、知事の毎年行われる自治体訪問において、知事に直接内容を要望。県が実施する事業でありますが、村としては早期の全面開通の要望活動を継続し、一日でも早い県の予算化を望むものであり、全力で取り組んでいきたい。

常任委員会報告

経済文教（けいざいぶんきょう） 常任委員会

委員長　鈴木（すずき）　義男（よしお）

○各課から受けた説明の詳細○



◆建設水道課◆

歳入歳出決算書の主な歳出項目について質問し詳細な説明を受けた。令和８年度一般会計補正予算で河川整備費補修保全工事について質問し、太田川地区中野川の擁壁改修工事ということ。また、今後、現地調査をするということで併せて説明を受けた。

◆教育課◆

歳入歳出決算書の主な歳出項目について質問し詳細な説明を受けた。令和８年度一般会計補正予算で幼稚園の土地購入費などについて質問し説明を受けた。

◆産業経済課◆

令和８年度一般会計補正予算で農地中間管理機構関連農地整備事業換地業務委託料などについて質問し説明を受けた。

総務厚生（そうむこうせい） 常任委員会

委員長　木野内（きのうち）　悟（さとる）

○各課から受けた説明の詳細○



◆税務課◆

歳入歳出決算の認定について、収入未済額（滞納額）のうち、時効が成立したものなどについて、次の通り不納欠損処理を行った。村税で、4,423万4,813円。国民健康保険税で、6,970万8,597円。介護保険料で、1,438万6,500円。７年度末での収入未済額は、約１億2800万円あると報告を受けた。現在は職員１ 名が滞納整理事務に特化しているとの事。より多くの徴収を期待するとの意見があった。

◆総務課◆

決算に基づく健全化判断比率等の状況については、村の実質公債費率は5.4%で問題のない比率であるが、今後の事業等を考えるとコスト削減に努力してほしいという意見があった。

◆こども支援課◆

出産祝金の贈呈時期が、出産した年の翌年４月になっており、村民からミルクやオムツ代に使えないとの声があったため、贈呈時期変更の検討を求める意見があった。

国見町議会来訪

8月19日（水）

国見町議会議会改革推進会議の皆さんが「政務活動費について」を題に、視察研修に来訪されました。

本村における政務活動費の交付基準や適正な運用に向けた取り組みなどについて説明を行いました。



国見町議会の皆さんと一緒に

学校給食センター安全祈願祭

8月3日（月）

学校給食センター建築工事の安全祈願祭に参加し、無事に完成することを祈願しました。



岡部議長による玉串奉奠の様子



安全祈願祭に参加された皆さんと一緒に

西白河地方町村議会議員研修会

8月17日（月）

東京第一ホテル新白河で行われた、西白河地方町村議会議員研修会に議員全員で参加しました。近年の政治情勢等について理解を深めるとともに、これからの議会活動について考える貴重な機会となりました。





研修会開会前の様子



閉会のことばを述べる
岡部議長



講師　政治アナリスト　伊藤（いとう）　惇夫（あつお）　氏

本柳（もとやなぎ）　正孝（まさたか）　氏　旭日単光章伝達式

8月26日（水）

元泉崎村議会議員の本柳正孝氏への旭日単光章の伝達式が行われました。

本柳氏は、平成7年10月から4期16年にわたり村議会議員を務め、この間、平成11年10月には議長に就任するなど、長きにわたり泉崎村の村政の発展に多大な貢献をされました。誠におめでとうございます。



写真中央　本柳　正孝　氏

第20回福島県市町村対抗軟式野球大会応援

9月5日（土）

ヨーク開成山スタジアムで行われた市町村野球大会1回戦の応援に行ってきました。強豪・郡山市との対戦ということもあり、応援にも一段と熱が入りました。

結果は、惜しくも0-5で敗れてしまいましたが、村の代表として力強いプレーを見せてくれました。





太鼓を響かせ応援しました！









選手の皆さん、関係者の皆さま、お疲れさまでした

県南地方総合防災訓練

9月13日（日）

本村で県南地方総合防災訓練が実施され、議員全員が参加し、訓練の様子を視察しました。当日は、来賓として県議会議員や近隣市町村議会の議長も出席しました。

今回の訓練で得た気づきを生かし、村民の皆さまが安心して暮らせる、災害に強い村づくりにつなげてまいります。



挨拶を述べる岡部議長



訓練開始報告時の様子



倒壊建物からの救助訓練の様子





合計２３個の訓練を視察しました

敬老会

9月18日（金）

泉崎村敬老会に議員7名で参加し、皆さまのご長寿をお祝いしました。今年も皆さまと峠節を踊ることができ、大変うれしく思いました。



毎年恒例！峠節を一緒に



祝辞を述べる岡部議長

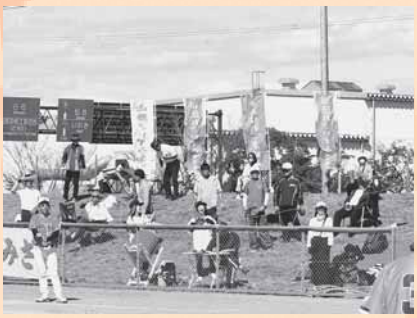
第13回福島県市町村対抗ソフトボール大会応援

10月3日（土）

相馬光陽ソフトボール場で行われた市町村ソフトボール大会1回戦の応援に行ってきました。選手の人数が少ない中、村の代表として最後まで諦めずに粘り強いプレーで戦い抜きましたが、惜しくも4-14で桑折町に敗れてしまいました。











選手の皆さん、関係者の皆さま、お疲れさまでした

福島県町村議会議員研修会

10月19日（月）

ビックパレットふくしまで行われた、町村議会議員研修会に議員8名で参加しました。



講師 中央大学法学部教授 礒崎（いそざき） 初仁（はつひと） 氏



研修会開会前の様子

◆次期定例会の予定◆

開会12月3日(木)

一般質問12月8日(火)／議案審議12月11日(金)予定

元気ハツラツ泉っ子

10月10日（土）に行われた各小学校学習発表と17日（土）に行われた中学校白樺祭にご招待いただき、泉っ子の誇らしい姿を見ることができました。

学習発表会



一小　６年生「ラストステージ」



二小　４年生「絆」

白樺祭



３年生「ライオンキング」



３年生　集合写真

編集後記

稲刈りが進み、秋の深まりを感じる11月。お米づくりに携わった皆さん、本当にお疲れさまでした。今年もおいしい新米が食べられることに感謝です。

さて、実りの秋。私自身は何か実っただろうか……。食欲だけは立派に実っています（笑）

気づけば今年も残りわずか。できたことも、できなかったことも、全部ひっくるめて自分の1年。何歳になっても、笑って、学んで、新しいことに挑戦する気持ちは忘れずにいたいものです。お米に負けないくらい、皆さんの毎日にもたくさんの笑顔が実りますように……。

（文責　安藤）

編集・発行責任者
議長　岡部英夫
編集委員会
委員長　鈴木保仁
副委員長　安藤茜
委員長　久保孝行
〃　野崎隆
〃　岡部英夫